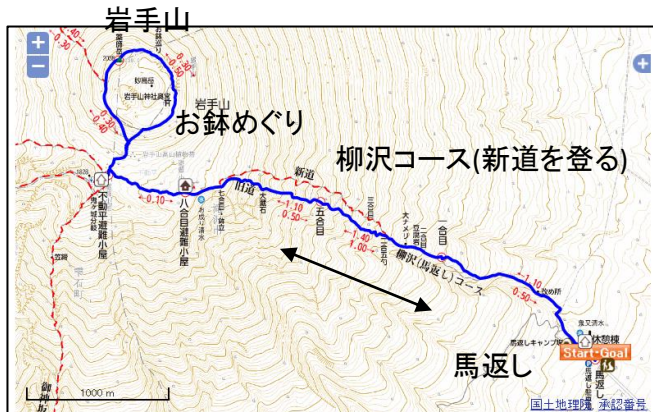


| | | | | | |
|----------------------|----------------|-----|--------------|------------------|--------------|
| 9 月度 例会 山行報告書 | | 報告者 | 大矢 | 参加 メンバー | CL 大矢(単独) |
| 個人 | | 報告日 | 10/6 | | |
| 山域 | 岩手県の山 | 山行日 | 2022.9.13(火) | | |
| 山名 | 岩手山 | | | | |
| 山行目的 | 東北の山の気象・地形・を知る | | | コースタイム(天候:天気図記号) | |

配布先
集会: 12
山行: 1
リーダー
原紙: 集
会担当者

ルート図(地図を見て正確に)



25万分の1地図

| | |
|----------------|---------------|
| 9/13(火) | |
| 6:00 曇り 馬返し登山口 | 19°C |
| 7:00 曇り 1合目上 | 17°C |
| 8:00 晴れ 4合目上 | 20°C |
| 9:00 晴れ 6合目上 | 27°C |
| 10:00 晴れ 9合目 | |
| 10:45 晴れ 岩手山頂上 | 20°C 北西の風5~7m |
| 11:40 曇り 8合目 | |
| 12:40 曇り 5合目 | |
| 14:55 曇り 登山口 | |

〈山行報告〉

12日のうちに名古屋から盛岡に移動してレンタカーを借り、マックスバリューで食料と酒を買い出ししてから、登山口に近い雫石に宿泊。翌日の気象情報を確認すると、曇りベースであるが、岩手山の頂上付近にいる9時から12時の間は晴れそうだ。明るくなるのを待って宿を5時半に出発。もちろん宿で朝食を取っていると遅くなるので素泊まり。柳沢コースは、岩手山に登る最短ルートだ。それでもコースタイムは8時間を超える。標高こそ2038mであるが、岩手県の最高峰であり裾野を引く姿は富士山やキリマンジャロに似ていてデカイ。登山口の馬返しには既に数台の車が止まっていた。

柳沢コースには旧道と新道があるが、旧道は登りにくいらしいので、ひらすら新道に行く。馬返しから地味にえらい登りが続き、予想通り6合目あたりから晴れてきて暑い。あまり期待していなかったが、まだ高山植物が咲いている。8合目の避難小屋で視界が開けてようやく岩手山の山頂が見えると感動。9合目からお鉢までの登りが、南アルプスの地蔵岳と似ていて、砂ザレで一歩進むと0.2歩ずり下がる嫌らしい登り。体力を消耗してお鉢に辿り着くと、もうひと頑張り。風が強いので慎重に歩を進めて岩手山の頂上に着く。岩手山は火山だけあって、お鉢を一周して見る景色は荒涼としている。

下山するに従って、再び曇ってきた。8合目まで下りて避難小屋の管理人の人に聞いたら、明日に登る予定の早池峰山が見えていたとのこと。明日の好天に期待して、暑さと単調なルートでバテバテになりながらも無事に馬返しに下山。膝にかなりのダメージがあるので、早池峰山に近い宿に着いてからアイシングによるケアをした。

確認
(リーダー)

大
22/09/14
矢

作成
(報告者)

大
22/09/14
矢

〈リーダー所見〉

岩手山は思っていたよりも、かなり手強かった。翌日の早池峰山で出会った人も、私と同じく前日に岩手山に登っていて、最後の登りで消耗したと言っていた。山は標高だけでは語れないことを改めて痛感した。

| | | | | | |
|--------------------------------|----------------|-----|--------------|------------------|--------------|
| 9 月度 例会 個人 山行報告書 | | 報告者 | 大矢 | 参加 メンバー | CL 大矢(単独) |
| | | 報告日 | 10/6 | | |
| 山域 | 岩手県の山 | 山行日 | 2022.9.14(水) | | |
| 山名 | 早池峰山 | | | | |
| 山行目的 | 東北の山の気象・地形・を知る | | | コースタイム(天候:天気図記号) | |

配布先
集会: 12
山行: 1
リーダー
原紙: 集会担当

ルート図(地図を見て正確に)



6:20 快晴 河原の坊駐車場 16°C
 7:05 快晴 小田越登山口
 8:00 快晴 1460m 西の風5m
 8:45 快晴 4合目 風弱まる
 9:05 快晴 1750m
 9:55 快晴 早池峰山頂上
 11:00 快晴 5合目
 11:55 左の靴裏のビブラムゴムが剥がれる
 ビニール袋で靴を縛って応急処置
 13:05 快晴 河原の坊駐車場

25万分の1地図

〈山行報告〉

予想通り、宿を出る頃には快晴となった。今日も暑そうだ。早池峰山のメインルートでもある小田越コースは、規制のため登山口の小田越まではマイカーが入れず、河原の坊駐車場で車を止めて、約40分の林道歩きが必要だ。朝は放射冷却で気温が下がって、半袖シャツでは寒いぐらいだったので林道歩きには助かる。ここの駐車場にもすでに数台の車が止まっていた。

小田越からはしばらく緩い登りが続くが、1合目付近で大きな岩がゴロゴロして歩きにくい箇所を通過する。さすがは高山植物の宝庫であるとともに、岩山のイメージもある早池峰山。ここを過ぎると普通の道になったが、3合目あたりから再び岩がゴロゴロする急登になる。この辺りから昨日に登った岩手山が良く見えるが、50kmぐらい離れているため意外と小さく見える。登山道には早池峰山にしかないハヤチネウスユキソウがひっそりと咲いているのだが、すでに最盛期は過ぎているため誰も注目しない。

5合目あたりから少しなだらかになったが、6合目からが本領発揮。そして8合目に2つ続く約20段のハシゴが登場。傾斜はそれほど急ではないが慎重に登る。これを過ぎると9合目で、傾斜は緩やかになって一頑張りして快晴の早池峰山の頂上に着いた。岩手山と違ってコースに変化が富んでいて飽きない。早池峰山が人気の山である理由がよく分かった。360度の景色を堪能して下山。途中で岩手県のパトロールの人たちに会ったので、昨日に岩手山に登って膝がガタガタなので注意して下りますと話しかけたら、無事に下りれば美味しい酒が待ってるでな・と励まされた。言う方も吞兵衛と思うが、私も吞兵衛ですと顔に書いてあったかな。ともあれ充実した2日間であった。

〈リーダー所見〉

2019年の安達太良山が初めての東北の百名山であったが、今回は東北の百名山の2つに登ることができた。いずれも内陸部の山で独立峰の性格が強く、予想よりも風が強いことが分かった。それぞれの山には固有の特色や文化があることも感じる事ができた。

確認
(リーダー)

大
22/09/14
矢

作成
(報告者)

大
22/09/14
矢

今回のため買ったモンベルの熊避けの鈴



柳沢コース8合目避難小屋と岩手山



岩手山頂上



昨日に登った岩手山

早池峰山にしかないハヤチネウスユキソウ



早池峰山頂上

岩手山

